

新しい市役所本庁舎のお知らせ

一新庁舎の建設工事を進めていますー

市役所本庁舎の建設工事は、令和6年7月から始まり、現在も旧陸上競技場跡地で工事が進められています。

屋根の設置が完了し、現在は建物の断熱や防水の処理を行っており、今後は、内装工事に着手し完成は令和8年11月頃を予定しています。

今後の進捗については、『広報のぼりべつ』や市公式ウェブサイトを通じて随時お知らせします。

問い合わせ 本庁舎整備推進グループ (☎571098)



▲最新情報



▲建設工事の様子（庁舎南側）

第24回
チャレンジ!!

ゼロカーボン

令和7年度環境講演会に参加しませんか？

持続可能な地域を目指して～脱炭素と登別の未来～

近年、平均気温の上昇、大雨、台風などによる災害、海面上昇や生態系への悪影響が発生しており、今後、地球温暖化の進行に伴う気候変動（豪雨や猛暑）のリスクがさらに高まることが予測されます。

地球温暖化の防止に向けて、日本を含む世界中で脱炭素社会への取り組みが進められており、登別市においても、令和4年2月に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする『ゼロカーボンシティ』への挑戦を表明しました。

本講演では、なぜ、脱炭素化に取り組む必要があるのか、また、ゼロカーボンシティを達成し、持続可能な地域の実現に向け、私たちがどのように行動すればよいかを知ってもらい、環境問題に関心を持っていただくきっかけづくりとして、宇山生朗さんに講演いただきます。

日時 2月7日(土)10時～11時30分

場所 市民会館 定員 100人

申し込み 1月30日(金)までに申し込みフォーム

か電話で環境対策グループ (☎552958)



講師 宇山 生朗さん

環境省 脱炭素まちづくりアドバイザー
(一社)環境行動デザインハブ 理事

東京生まれ、札幌市在住。大学院（環境科学）修了後、総合建築業の環境部門を経て北海道に移住。2016年に（公財）北海道環境財団に入団し、環境保全と地域創生の同時実現を図る政策・事業形成支援に取り組む。2019年～2022年は北海道に出向し、ゼロカーボン北海道や行動科学の政策適用に関する新規事業立案に従事する。

環境省脱炭素まちづくりアドバイザー、環境配慮行動の促進に取り組む全国組織（一社）環境行動デザインハブ理事に加え、北海道庁や北海道経済連合会の委員など、セクターを横断して活動する。



令和7年度交通安全標語入賞作品

登別市老人クラブ連合会が、高齢者の交通安全への関心を高め自己啓発を図るため募集した交通安全標語の入賞作品をお知らせします。

登別市長賞

事故防止 自転車乗るなら

ヘルメット

(若緑会・井上 静江)

急ぐなよ 逃げはしないぞ

目的地

(希望の会・橋本 敬志)

安全は ゆとりの運転 ゆずり合い

(若緑会・戸来 一男)

登別市交通安全協会会長賞

よく見よう 車のかげから 歩道から

(新生虹の会・西條 豊明)

やめようよ ながらスマホは 事故のもと

(新生喜楽会・中山 晃一)

反射材 光ってきずく 事故防止

(若緑会・柿崎 昭子)

登別市老人クラブ連合会会長賞

酒飲んで 運転すれば 皆アウト

(若緑会・宿村 正行)

近すぎよ 止まれる距離か

(新寿会・佐野 恵子)

まいにちの なれたみちにも おとしあな

(希望の会・阿部 忠臣)

助手席も 後の席も シートベルト

(新生喜楽会・佐野 輝子)

問い合わせ 市民協働グループ (☎552139)